

八戸・光星学院とSGグループ 福祉人材育成で協定



協定書に署名し協定締結をした
法官新一理事長（右）と田中
信幸理事長

東北地方で病院や介護施設などの医療福祉事業を展開する八戸市の東北医療福祉事業協同組合（SGグループ）と、同市の学校法人光星学院は17日、介護福祉の人材育成などに向けて連携協定を締結した。今後、実習の受け入れや講師派遣などの相互協力を強化することにより、地域の医療福祉の向上を目指す。

や医療機関での実習生の受け入れなどで協力体制を築いている。協定はこれらの取り組みを強化し、それぞれの活動のさらなる充実を図るとともに、特に担い手が不足している医療福祉の人材育成に力を入れる狙い。

この日、八戸学院大の大会館で行われた締結式では、SGグループの田中信幸理事長と光星学院の法官新一理事長が協定書に署名。法官理事長は「協定は

福祉の現場と教育の場を緊密に結び付けるものと考えている。地域が抱える社会福祉の問題解決に少しでも役立つことを念願している」と期待。田中理事長は「お互いに親密に連絡を合うことでよい方向性を見いだし、地域に貢献できれば」と展望を語った。

今後は人材交流の他、合同の研修会開催などを通して、双方の教職員の資質向上を目指すのをはじめ、奨学金制度の整備など教育の支援態勢の充実にも積極的に取り組む。（三浦千尋）